

教育研究評議会議事録

平成28年5月11日（水）
15時30分から16時29分まで
法人本部第1会議室

議事

I 教育研究評議会議事録（4月13日開催）の確認

II 協議事項

- 1 第2期中期目標期間の教育研究の状況についての評価に係る研究業績説明書について
- 2 平成29年度入学者選抜における私費外国人留学生学力検査実施教科・科目等について
- 3 山形大学学部規則の一部改正について
- 4 山形大学名誉教授の称号授与について

III 報告事項

- 1 平成29年度開設予定の学部等に係る設置計画の概要等について
- 2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの進捗状況について
- 3 平成28年度科学研究費補助金応募内定状況について
- 4 就職決定状況（平成27年度最終）について

IV その他

- 1 山形大学創立70周年記念事業（案）の実施について
- 2 主担当及び副担当の配置について
- 3 次回開催（平成28年6月15日（水））

出席者

議長	小山清人	(学 長)				
評議員	安田弘法	久保田功	大場好弘	阿部宏慈	萩原 均	(理 事)
	清塚邦彦	是川晴彦				
	出口 毅	小川雅子				
	玉手英利	脇 克志				
	後藤 薫代理	貞弘光章				
	飯塚 博	中島健介				
	林田光祐	村山秀樹				
	根本建二					
監 事	渡辺 均	竹内千春				

欠席者

評議員 山下英俊

列席者

総務部長 企画部長 財務部長 施設部長
エンrollment・マネジメント部長 小白川キャンパス事務部長 医学部事務部長
工学部事務部長 学長付主幹専門員 農学部事務長 総務課長
教育・学生支援部学務課長

I 教育研究評議会議事録（4月13日開催）の確認

議長から、前回4月13日(水)開催の本会議の議事録(案)が確認され、議事録が確定した。

II 協議事項

1 第2期中期目標期間の教育研究の状況についての評価に係る研究業績説明書について

久保田評議員から、第2期中期目標期間に係る法人評価の研究業績説明書については、平成28年5月31日までに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構へ提出する必要がある旨資料1-1、1-2に基づき説明があり、今後各部局の追記・修正を踏まえ、最終的な調整は学長に一任いただきたい旨、提案があった。

次いで、議長から本件について提案があり、審議の結果、了承された。

2 平成29年度入学者選抜における私費外国人留学生学力検査実施教科・科目等について

大場評議員から、平成29年度に開設予定の学部等に係る各学部・学科の私費外国人留学生における日本留学試験、個別学力検査等の変更点について、資料2に基づき説明があった。

次いで、議長から本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3 山形大学学部規則の一部改正について

大場評議員から、本件については、学校教育法及び学校教育法施行規則の一部改正に伴い、編入学に係る所要の改正を行うものである旨、資料3に基づき説明があった。

次いで、議長から本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

4 山形大学名誉教授の称号授与について

議長から、各部局から合計10人の推薦があり、被推薦者は山形大学名誉教授称号授与規程第2条第1号に該当する者8名、第3号に該当する者1名及び第4号に該当する者1名である旨、資料4のとおり説明があった。

次いで、各人の推薦理由等について同資料に基づき説明があり、審議の結果、10人について全会一致で了承された。

なお、当該資料については、個人情報が含まれるため非公表とし、審議後、回収された。

Ⅲ 報告事項

1 平成29年度開設予定の学部等に係る設置計画の概要等について

議長から、平成29年度開設予定の3学部及び2研究科の設置計画に係る文部科学省への事前伺い及び2学部の概算要求について、概要及び今後の予定等に関して資料5に基づき報告があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・平成29年度以降の教員配置の基本的考え方について伺いたい。人文社会学部、理学部、工学部では、事前伺い書類において、それぞれ専任教員数を記載している。この3学部ではいずれも専任教員数が現在よりも増えているが、人文社会学部と理学部については小白川キャンパス内での主担当の配置換えで対応しているのに対して、工学部では新たに3人を新規採用することとなっている。この3人分のポイントは学生数が減る小白川キャンパスのポイントを使うということか。教員はすべて学術研究院から配置することになるので、キャンパス単位でのポイント管理を重視する必要はないと理解しているが、一方で、学部の教員ポイントは固定的に管理されているので、一律に削減されている。ポイントの増減については調整するのか、本部の方針を聞かせていただきたい。(玉手評議員)
- ・全体の教員ポイント数は毎年1%削減することとなっており、平成29～30年度の過渡期においては、教育カリキュラムにおいて必要なポイント数を教育担当副学長より提案いただき、役員会で決定する。(議長)

2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの進捗状況について

安田評議員から、平成27年12月9日(水)開催の本会で承認された山形大学学位授与方針等に関する研修会、ワークショップの開催及び今後のスケジュール等について資料6-1に基づき説明があった。

次いで安田評議員から、各学部・学科等におけるディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー策定の進捗状況について、大場評議員から、各学部、学科におけるアドミッション・ポリシー策定の進捗状況について、資料6-2に基づき報告があった。

その後、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・平成31年度の入試を検討しているが、平成31年度の入試においてアドミッション・ポリシーを変更することは可能か。(脇評議員)
- ・状況に応じて変更は可能である。(大場評議員)

3 平成28年度科学研究費補助金応募内定状況について

議長から、本件について、各部局における種目別の応募状況及び内定状況について、資料7のとおり取りまとめた旨報告の後、各種目毎及び部局毎における年度別の内定数及び採択率の傾向について、委細説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・科学研究費の採択率が全国平均に比べて低いと思われるが、原因の分析はしているのか。(貞弘評議員)
- ・申請数は多いが採択率が低い状況にある。各部局で申請の際のアドバイスを徹底するなど、各研究者の能力が活かせるように質の向上に努めたい。(久保田評議員)

4 就職決定状況（平成27年度最終）について

安田評議員から、平成27年度卒業者及び修了者の就職決定状況について、資料8に基づき報告の後、各学部における内定率の傾向について説明があった。

IV その他

1 山形大学創立70周年記念事業（案）の実施について

阿部評議員から、平成31年度に本学創立70周年を迎えるため、記念事業実施のために実行委員会を立ち上げたい旨、資料9に基づき説明があった。

次いで、議長から本件について協力依頼があった。

2 主担当及び副担当の配置について

安田評議員から、本件について、国立大学法人山形大学学術研究院規程及び山形大学学部教授会規程において定めている主担当教員及び副担当教員について説明があり、所属及び配置について、資料10に基づき説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・農学部開講科目を担当してもらうため、他学部で副担当の依頼手続きを進めていたが、教育担当副学長を通すとなると、どのように手続きを進めれば良いのか。
(村山評議員)
- ・当該学部長間で調整いただき、教育プログラムが確定した段階で統括教育ディレクター会議で必要性を検討し、役員会に諮り決定する。(安田評議員)
- ・人文学部の改組にあたって、他部局に配置されている教員の協力も想定してカリキュラムを作成したが、このカリキュラムに関わる教員も再度学内で手続きを行う必要があるのか。(清塚評議員)
- ・主担当、副担当については、本学における教育研究組織等の配置のことであるた

め、学部長からの提案で改めて統括教育ディレクター会議に提出することになる。教員の配置については慎重に行う必要があるため、議論を重ねながら進めていきたい。(議長)

- ・ 主担当，副担当の調整にあたり，キャンパス長はどのような役割を担うのか。(玉手評議員)
- ・ 学部間での調整が難航した場合に，調整役をお願いしたい。(議長)
- ・ 副担当教員は，山形大学学部教授会規程にあるとおり教授会に加えることができることとなっており，カリキュラムを担当することだけに限らないという部分をご理解いただきたい。(阿部評議員)
- ・ 学部と研究科で主担当が異なる場合，どのような手続きになるか。(村山評議員)
- ・ 手続きは，まず学部を優先して決め，研究科はその後の調整となる。(議長)
- ・ 「当該教育研究組織等の主担当教員」は，現時点ではどのような基準で決まっているのか。(飯塚評議員)
- ・ 平成28年度において主担当教員が決まっているため，次年度の調整にあたってはこれが基準となる。(議長)
- ・ 平成29年度の改組にあたり，主担当教員が他学部に移行する場合，元の学部と移行先の学部で主担当，副担当の区分はどのように整理すれば良いのか。(出口評議員)
- ・ カリキュラムは，主担当，副担当に関係なく担当は可能である。教育課程編成及び研究等に必要不可欠な場合というのは，教育プログラムの企画，編成，評価，実施という部分を意識していただき，決定してもらうこととなる。(議長)
- ・ 主担当，副担当の考え方は，部局単位までで良いのか。入試については学科，コースで行うため，確認したい。(出口評議員)
- ・ 部局単位までとなる。(議長)
- ・ 主担当と副担当の整理や区別について，今後明確化されるのか。(清塚評議員)
- ・ カリキュラムと主担当，副担当とは必ずしも関連するものではない。(議長)
- ・ 平成29年度の改組にあたり提出したカリキュラム担当教員は，主担当ということが良いのか。(清塚評議員)
- ・ 必ずしも主担当ということではない。過渡期のため，ケースバイケースで対応していただきたい。(議長)
- ・ 主担当，副担当の配置決定は，日程的にはどのようなようになるのか。(清塚評議員)
- ・ 教育プログラムの検証作業を6月中に予定しているが，カリキュラムのチェックリストが完成次第，早めに対応していきたい。(安田評議員)
- ・ 平成29年度のスケジュールは理解したが，平成30年度，平成31年度も同様のスケジュールとなるのか。(林田評議員)
- ・ 前年度の反省点を踏まえ，今年度このようなスケジュールとなった。今後も同様に検討しているが，現場が対応しやすいようにしていきたい。(議長)

- ・ 教員養成課程の科目で教員名を文部科学省に提出しているが、主担当ということになるのか。(脇評議員)
 - ・ 教育編成上必要不可欠かどうかの判断になる。(議長)

 - ・ 主担当，副担当ではない人にカリキュラムを担当してもらう場合は，従来の兼担というような解釈で良いのか。(是川評議員)
 - ・ その解釈となる。(議長)
- 3 次回開催（平成28年6月15日（水））
今回は，平成28年6月15日（水）に開催することとなった。

配付資料

議事

前回（平成28年4月13日（水）開催）議事録

資料1-1 第三者評価の目的と内容

資料1-2 研究業績説明書【記述例】

資料2 平成29年度私費外国人留学生入試学力検査実施科目等について

資料3 山形大学学部規則の一部改正について

資料4 名誉教授被推薦者名簿

資料5 平成29年度開設予定の学部等に係る設置計画の概要等について

資料6-1 平成29年度の3つの指針策定スケジュール

資料6-2 各学部のDP，CP，AP（案）一覧

資料7 平成28年度科学研究費補助金応募及び内定状況

資料8 平成27年度卒業者の就職状況調

資料9 山形大学創立70周年記念事業（案）の実施について

資料10 主担当教員及び副担当教員の配置について